

2026年度 長岡大学シラバス

授業科目名	キャリア開発Ⅱ-1 (Career Development II-1)					担当教員	広田 秀樹 (ヒロタ ヒデキ)	
2020-23年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	学生参加型AL
	2010-0-21-003	教養科目	必修	1単位	2年次	前期		
2024-26年度 入学者(24K-26K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	学生参加型AL
	2410-0-21-003	教養科目	必修	1単位	2年次	前期		

① 授業のねらい・概要						
企業等の組織や個人が激しく競争する現実の社会で、遅く活躍し続けるために必要な、基本的な姿勢、考え方、ルール、作法、知識、視野、思考力等を身につけることを目標にする。具体的には、社会の組織で求められる多数の基本事項について学び、経済社会を構成する多様な業界について学習する。授業内容は基礎レベルである。						
② ディプロマ・ポリシーとの関連						
職業人として通用する能力を育成する授業						
③ 授業の進め方・指示事項						
基本的な知識、情報を紹介しながら、思考力を高めるため、質問を頻繁にし討論も促し、また変化の激しい社会の各現場で実際に勤務されている方をゲストスピーカーとして招聘するので、各自が人生のデザインを考え、積極的に授業に参加すること。						
④ 関連科目・履修しておくべき科目と履修に望ましい予備知識・技能						
キャンパスライフ入門・キャリア開発Ⅰ						
⑤ テキスト(教科書)※授業で使用する。						
毎回学習資料を配布する。						
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。						
大久保幸夫(2016)『キャリアデザイン入門 [I] 基礎力編』(第2版) 日本経済新聞社						
⑦ 担当教員からのメッセージ(昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)						
経済社会の構造等をよく理解し、社会人として活躍するために必要な重要事項が、徹底して身につくような授業を志向する。						
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安						
(1) 経済社会の基本構造が理解できる。 (2) 経済社会で活躍するための基本事項が理解できる。 (3) 自分に合ったキャリアデザインを描くことができる。						
⑨ ルーブリック						
評価基準		S	A	B	C	D
評価項目		到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(1)	経済社会の基本構造の理解	経済社会の基本構造に関して、資料等に頼らず説明でき、授業内容を越えた学修成果を示している。	経済社会の基本構造に関して、資料等に頼らず説明できる。	経済社会の基本構造に関して、資料等を参照しながら説明できる。	経済社会の基本構造に関して、資料等を参照しかつ教員等の支援を得て説明できる。	経済社会の基本構造に関して、資料等を参照しかつ教員等の支援を得ても、説明できない。
(2)	経済社会で活躍するための基本事項の理解	経済社会で活躍するための基本事項に関して、資料等に頼らず説明でき、授業内容を越えた学修成果を示している。	経済社会で活躍するための基本事項に関して、資料等に頼らず説明できる。	経済社会で活躍するための基本事項に関して、資料等を参照しながら説明できる。	経済社会で活躍するための基本事項に関して、資料等を参照しかつ教員等の支援を得て説明できる。	経済社会で活躍するための基本事項に関して、資料等を参照しかつ教員等の支援を得ても、説明できない。
(3)	キャリアデザイン構築の能力	キャリアデザイン構築に関して、資料等に頼らず説明でき、授業内容を越えた、キャリアデザインの構築能力を示している。	キャリアデザイン構築に関して、資料等に頼らず説明でき、十分なキャリアデザインの構築能力を示している。	キャリアデザイン構築に関して、資料等を参照しながら説明でき、不十分なキャリアデザインの構築能力を示している。	キャリアデザイン構築に関して、資料等を参照しかつ教員等の支援を得ても説明でき、不十分なキャリアデザインの構築能力を示している。	キャリアデザイン構築に関して、資料等を参照しかつ教員等の支援を得ても説明できず、キャリアデザインの構築能力を示せない。

⑩ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 取組姿勢・意欲	その他	合計	
総合評価割合	45%		30%		25%		100%	
(1) 経済社会の基本構造の理解	20%		10%		10%		40%	
(2) 経済社会で活躍するための基本事項の理解	20%		10%		10%		40%	
(3) キャリアデザイン構築の能力	5%		10%		5%		20%	
評価項目「その他」詳細								
フィードバックの方法	課題についてコメントを行い討論のベースとして紹介する。							
⑪ 授業計画と学習課題								
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）						
1	イントロダクション・キャリアとは何か	キャリアとは何かを考える課題						240分
2	人生におけるキャリアの重要性	各自の個性とキャリアデザインを考える課題						240分
3	経済・産業・企業	経済・産業・企業に関する考察課題						240分
4	企業等の組織の基本構造	企業等の組織の基本構造に関する考察課題						240分
5	業界研究・企業研究の重要性	業界研究・企業研究の重要性に関する考察課題						240分
6	流通業	流通業に関する考察課題						240分
7	製造業	製造業に関する考察課題						240分
8	金融業	金融業に関する考察課題						240分
9	建設業	建設業に関する考察課題						240分
10	サービス業	サービス業に関する考察課題						240分
11	公共の仕事	公共の仕事に関する考察課題						240分
12	出版・印刷業	出版・印刷業に関する考察課題						240分
13	貿易業	貿易業に関する考察課題						240分
14	インターンシップについて	インターンシップに関する考察課題						240分
15	まとめ	キャリアデザイン構築の具体的実践に関する考察課題						240分
⑫ アクティブラーニングについて								
学生参加型ALを採用する。授業内容をベースにして、独自に調査、考察し、課題を作成する過程で、本質を見抜き、組織にとって有効な提案ができる高度な思考力が身につく授業を志向する。								

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目	
実務経験の概要	
実務経験と授業科目との関連性	